

山田孝雄博士の
貴重資料
・自筆資料
のご紹介

山田孝雄文庫

当館ホームページの電子図書館では、山田孝雄文庫の
貴重な資料をデジタル画像で公開しています。

➡ 貴重資料

山田博士が収集された、18,000点におよぶ蔵書の中から、江戸時代以
前の古写本など、貴重な資料をご覧いただけます。

愛染王護摩私

室町後期写

➡ 自筆資料

代表的な著作『日本文法論』の原稿をはじめ、熱心に国語学・国文学の研
究に取り組まれたあとがうかがえる、自筆資料をご覧いただけます。

日本文法論・上

書写年明治41年



富山市立図書館本館 TOYAMAキラリ内 5階特別コレクション室

〒930-0062 富山市西町5番1号

Tel 076-461-3200 Fax 076-461-3310



交通案内

市内電車 「Grand Plaza前」「西町」より徒歩2分
あいの風とやま鉄道 「富山駅」より徒歩20分
地鉄バス 「西町」より徒歩1分
自転車 自転車用駐輪場は、TOYAMAキラリの南東側にあります。

※専用駐車場はありませんので、車でお越しの際は、周辺駐車場をご利用ください。

周辺有料駐車場のご案内

P1	チューゲキ西町パーキング	約180台	P6	富山本願寺駐車場	約50台
P2	@park富山・飛騨街道	約170台	P7	東別院駐車場	約100台
P3	中央パーカード	約120台	P8	富山市営総曲輪駐車場	約400台
P4	Grandパーキング	約630台	P9	堤地所パーキング	約180台
P5	山王駐車場	約150台	P10	荒町グリーンパーク	約330台

開館時間 9:30-18:00 休館日 毎月第1水曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始
蔵書点検期間



閲覧を希望される方は、5階調査相談カウンターへお申込みください。
特別コレクション室の資料は、室内の専用閲覧席でご覧ください。
貸出は行いません。

URL <http://www.library.toyama.toyama.jp/>

特別 コレクション室 のご案内

富山市立図書館



山田孝雄

やまだ

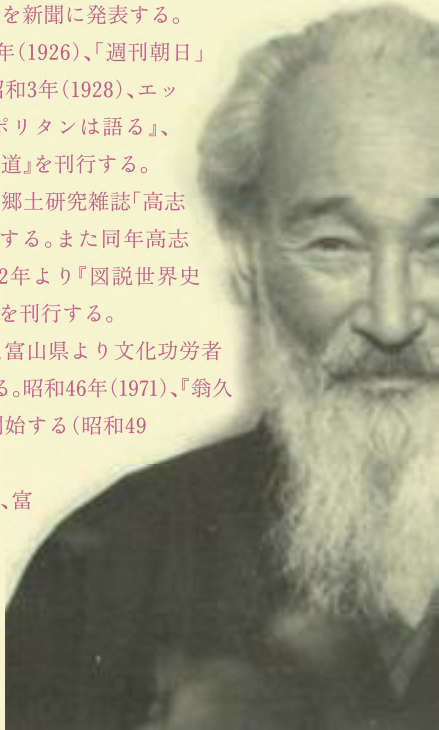
よしお



国語学・国文学者

1875-1958

明治21年(1888)、富山県新川郡東谷村大字六郎谷村(現立山町六郎谷)に生まれる。
明治40年(1907)、19歳で渡米。労働のかたわら、小説・エッセーなどを新聞に発表する。
帰国後の大正15年(1926)、「週刊朝日」編集長となる。昭和3年(1928)、エッセー集『コスモポリタンは語る』、長編小説『道なき道』を刊行する。
昭和11年(1936)、郷土研究雑誌「高志人」を主宰・創刊する。また同年高志書房を起業し、12年より『図説世界史話大成(全16巻)』を刊行する。
昭和28年(1953)、富山県より文化功労者として表彰される。昭和46年(1971)、『翁久允全集』を刊行開始する(昭和49年完結)。
昭和48年(1973)、富山市にて永眠。



翁久允

おきな きゅう いん



ジャーナリスト

1888-1973

明治8年(1875)、富山県富山市総曲輪(そうがわ)に生まれる。
富山県内の小学校や兵庫、奈良、高知などの中学校で教員を勤めながら、独学により国語学・国文学を研究する。
明治35年(1902)、日本古来の文法学に西洋の文法理論を取り入れた『日本文法論 上巻』(大阪宝文館)を刊行する。明治41年(1908)、同書は全1巻本として完成。昭和4年(1929)、『日本文法論』により、文学博士の学位を受ける。
日本大学教授、東北大学教授を歴任し、国語学・国文学・国史学・書誌学など広い分野にわたり著しい研究成果をあげた。『奈良朝文法史』『平安朝文法史』(ともに大正2)『連歌概説』(昭和12)など国語文法・国文学に関する著作が多く、その功績は顕著である。
昭和32年(1957)、文化勲章を受章。富山市名誉市民となる。昭和33年(1958)、仙台市にて永眠。富山市呉羽山長慶寺地内に葬られた。

翁久允氏・岩倉政治氏の旧蔵書を収蔵しています。

特別 コレクション室 文庫のご紹介

富山市にゆかりの深い、山田孝雄氏・



翁久允文庫

沿革・概要

昭和45年(1970)、当館新設に際し、翁久允氏から蔵書の寄贈を受ける。平成8年(1996)「翁久允文庫」を開設、同年『翁久允文庫目録』を発行する。
蔵書は約2,700点(洋装和書約2,000冊、洋書269冊、雑誌201種、和装本181点)。
洋装和書は郷土資料、歴史書、文学書が多い。



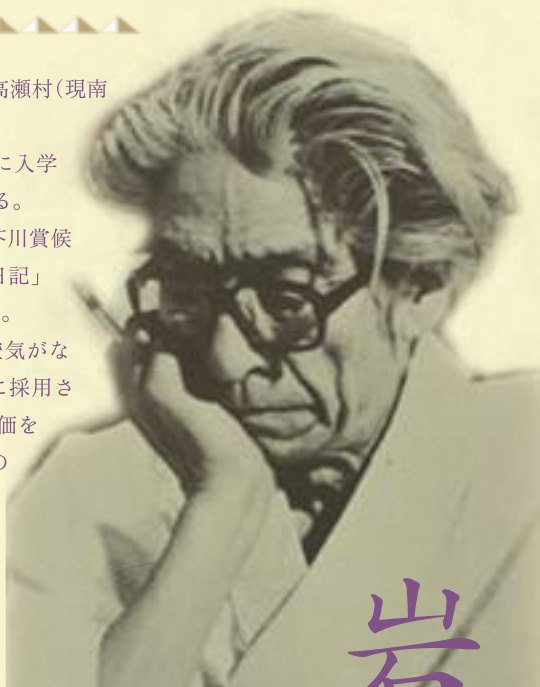
山田孝雄文庫

沿革・概要

平成8年(1996)、山田孝雄博士のご遺族から、博士の旧蔵書の寄贈を受け、平成11年(1999)11月、「山田孝雄文庫」として開設した。同年『山田孝雄文庫目録 洋装本の部』を発行。平成19年(2007)には『山田孝雄文庫目録 和装本の部』を発行した。
蔵書は約18,000点(洋装和書8,800冊、洋書167冊、雑誌445冊、著作840点、和装本6,600点)。
洋装本は国語学、国文学、国学、神道、日本史などを中心に、文学・語学研究に必要な基本文献が充実している。
和装本は「(カタカナ本)方丈記」「実語教注」「撃蒙句法」などの古写本をはじめ、国書総目録に所蔵館の記載が少ない刊本も、比較的多く所蔵している。特に連歌・俳諧関係書には異色のものがある。



明治36年(1903)、富山県東砺波郡高瀬村(現南砺市高瀬)に生まれる。
昭和元年(1926)、大谷大学哲学科に入学し、鈴木大拙・戸坂潤の薫陶を受ける。
昭和14年(1939)、「稲熱病」により芥川賞候補となる。昭和15年(1940)、「村長日記」により第3回農民文学有馬賞を受賞。
昭和22年(1947)、児童文学作品「空気がなくなる日」を発表。のちに教科書に採用され、また映画化されるなど、高い評価を得る。戦後は富山市に住み、多くの小説・評論・随筆を執筆した。
昭和58年(1983)、富山県文化賞を受賞。
平成12年(2000)、富山市にて永眠。
『日本宗教史講話』『親鸞』『冬を籠る村』『田螺のうた』『ニセアカシアの丘で』『草むらの語り』『大伴家持』『ハトムギの夏』『無告の記』など多数の著作がある。



岩倉政治

いわくら



小説家

1903-2000

せいち



岩倉政治文庫

沿革・概要

平成15年(2003)、岩倉政治氏のご遺族から、岩倉政治氏の旧蔵書と原稿、遺品などの寄贈を受ける。平成22年(2010)11月、「岩倉政治文庫」として開設した。
蔵書は約2,000冊(うち岩倉政治著作は約480冊)。その他に原稿(未発表作品を含む)、書簡、関連資料、収集絵画等、約4,300点がある。
特に岩倉政治著作のうち、昭和10～20年代の雑誌掲載作品には、単行本に未収録のものが多い。